

「永野小学校の秋津舞伝承活動の取組」

1 学校名

さつま町立永野小学校

2 学年・人数

5・6年生（計8人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和2年8月3日～9月17日・永野交流館，永野小学校

(2) 発表の日時・場所

令和2年9月 「南方神社例大祭の奉納」・南方神社

※ 令和2年度は，新型コロナウイルス感染症予防のため中止

令和2年9月20日（日）「秋季大運動会の発表」・永野小学校校庭

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称

秋津舞（あきつまい）

(2) 由来

豊臣秀吉の朝鮮再征に際し，島津義弘公も出陣し，敵の援軍を破り，薩摩隼人の勇名をとどろかせて凱旋しました。その凱旋を記念するとともに将兵の士気を鼓舞するため踊り伝えられたといわれます。

(3) 構成等

入れ太鼓2人，かね4～8人，太鼓十数人，合計20人程度で構成され，勢揃い，出陣，攻撃，凱旋の様子を，それぞれ隊形を変えながら勇ましく激しく踊る太鼓踊りです。近年は，小学校5・6年生と中学1・2年生で編成されており，今年度は，5・6年生8人と中学1・2年生12人，合計20人で踊っています。

5 保存会や地域との連携の具体

文化財少年団が結成されており，永野区公民館の後援のもと，岩元集落の保存会員に御指導をいただいています。8月から9月下旬までの間，週2回，1時間程度の練習を行っています。練習の成果は，運動会や南方神社の例大祭，町内のイベントなどで発表しています。永野区公民館，保存会，保護者，学校が連携して，郷土のすばらしい伝統芸能「秋津舞」を伝承しています。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

永野兵児塾（かごしま地域塾に登録）の取組の一環として伝承活動を行い，永野区公民館より，経済的・物的な支援をいただいています。衣装のクリーニングや太鼓・矢旗・刀等の道具の保管・準備等も永野区が行っています。

秋津舞の活用は，毎年行っている運動会の発表，南方神社の例大祭の奉納以外に，H30さつまフェスタ，H29県PTA活動委嘱公開で発表しました。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



秋季大運動会での発表



南方神社の例大祭の奉納



県PTA活動委嘱公開オープニングアトラクション



さつまフェスタでの発表

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

○ 児童

練習は、暑い時期で大変でしたが、母や兄も取り組んできた秋津舞をぼくもできてよかったです。運動会では、上手に踊れました。たくさんの人たちに褒めてもらって嬉しかったです。

○ 保護者

親子2代にわたって秋津舞を踊ったことは、とても意義深いと感じました。お迎えやお茶当番など、たいへんな面もありましたが、子供たちの勇姿を見ることができて感激しました。

○ 保存会

異年齢による集団活動の中で、根気強く練習しながら、協調性の大切さ、達成感・成就感などの心地よさを感じてほしいです。これらの経験を通して、最終的には故郷に愛着をもった子供たちが育つことを願い、今後も継承活動を続けていきたいと思えます。

○ 教職員

練習を8月から始めていますが、保護者や地域の方々に指導、協力いただいて、最後まで一生懸命がんばっていました。地域の伝統的な踊りをいつまでも傳承したいという熱い思いが伝わってくる取組です。